

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人

日照養徳園

令和2年度日照養徳園事業報告

令和2年度の事業報告を各事業別に報告いたします。

令和2年度においては、コロナ禍においての1年間となったために、計画されていた事業の多くが中止や延期となったいたしました。令和3年度へ向けても不透明な部分が多い現状ではあります

① 地域小規模児童養護施設の安定化

平成22年5月に開設した地域小規模児童養護施設「ひなた」は令和2年度で11年目を終えた所である。

入所している児童が大きく入れ替わらない為、落ち着いた生活を継続することができている。令和2年度は1年間を通して5名の児童が生活をし、令和2年度末には高校3年生1名が進学で退所となり、その補充として本園から幼稚園生1名を移動させた。令和3年度は児童5名での生活がスタートします。

一方では平成28年度～平成31年度卒業児童へのアフターケアの業務が増えたことから、必要に応じ本園の専門職にもフォローしてもらった。

職員体制のフォローは、地域小規模施設に対する「地域分散化加算職員配置」を活用し職員4名体制を実施した。これにより、職員シフトに余裕が生まれた。

② 施設の小規模化の推進について

令和2年度までに、本園内の4つのグループがLDKや浴室、洗面等を備え各グループが小規模化に進んだ。

1F「だいち」グループのみ11名定員となっており、このグループを小規模グループケア化をするには地域分散化し、定員6名としなければならない。(本体内の小規模化新設は認められなくなった)。令和3年度中に分園として一軒家を探して移動する計画となる。新たな中長期計画「日照養徳園社会的養育推進計画」は令和2年度からスタートした。

今後のスケジュールは以下の通りとなる

- ① 令和4年度当初に分園型小規模グループケア施設（定員6名）の開設
- ② これにより本園は定員30名と減員する（本体施設24名＋分園6名）
- ③ 令和4年度中には本体に空きスペースができることにより、多機能化事業を実施（需要の大きい、一時保護専用スペース・定員4人～6人を計画している）
- ④ 令和7年度には本園を24名定員（4グループ各6名定員）へ小規模化
- ⑤ 令和11年度には本園を20名定員（4グループ各5名定員）へ小規模化

令和11年度に向けての中長期計画であるが、入所児童の実態変化等を予測するのは困難であり、状況によっては計画時期を前後させることもあると考えている。

③ 設備整備事業関連

- ㊦ 本体施設の2階ホールのエアコンが故障し使用不可能となったため、家庭用エアコン2台を新規設置した。(雅営繕)
 - 総事業費 660,000円
 - 自己資金 660,000円
- ㊧ コロナ対応として高校生向けのインターネット環境整備を行う。(ゼロス)
 - 総事業費 138,000円
 - 自己資金 138,000円
- ㊨ 日立市提出用定期建物調査(日木産業)
 - 総事業費 300,000円
 - 自己資金 300,000円
- ㊩ 公用車(ハイエース)の老朽化による買替えを実施(日産キャラバンに買替)
 - 総事業費 1,470,000円
 - 自己資金 1,470,000円

④ 地域や行事関連

養徳園夏祭りの中止

コロナ禍において、大人数が集まる行事は不可能と判断し中止となる。

餅つき大会の中止

夏祭り同様に外部を含め大人数の集まる行事は中止となる。

ただし、12月28日園内児童向けにお餅をつき各グループに配膳しました。

P T A活動について

平成18年度から豊浦小P T A事務局役員(P T A副会長として 大谷恭久)として活動を行い、令和2年度も副会長として参加。(令和3年度も留任予定)
又、高萩清松高校のP T A事務局監事監査としてもP T A活動に参画しました。
(令和3年度も監事監査予定)

⑤ 人事関連

退職者

令和2年度末に調理員1名が退職しました。(再雇用後の非正規職員)

〃 保育士1名が退職しました。(出産による転居の為)

新規採用者 令和3年4月1日付

茨城キリスト教大学新卒指導員2名(女性)を採用し、たいよう・うみに配属。

現場復帰者

育児休暇を取得していた保育士が9月に復帰しました

育児休暇等取得者

保育士1名が育児休暇取得、第2子の出産のために次年度も産休・育休取得。

指導員1名が第2子出産の為、年度末から産休を取得。

⑥ 処遇関連

・不登校児童への対応

平成22年度以降31年度まで中学生・小学生の不登校児童はゼロが継続していたが令和2年度については、中学3年生が不登校となる。理由としては入所前の不登校はあったが入所後は通学をしていたものの、コロナによる休校があり、不安定となる。休校解除後に切り替えができず不登校となる。本人も悔しさがああり、登校努力したが結果として継続できずに高校進学は通信制高校（明秀学園通信制）となる。

・児童間の暴力的上下関係・いじめへの対応

児童間の暴力やいじめ、又児童から職員への暴言や暴力についても、その場で見逃さない対応をとってきた。令和元年度は「だいち」グループに新規入所児童が多く配属されたため、混乱を招いた音を反省し、人事異動を行い「だいち」グループの安定を図った。結果として「だいち」グループの児童は問題行動がなくなり、個別対応が必要な児童へ注力でき、混乱は無くなった。

・性的問題行動への対応

平成29年度に高学齢児(高校生)のスマートフォンを介在とした性に関わる事故が発生した為、スマートフォン所有のルールを再検討した。原則として所持しながら、怖さを学ぶという考えで高校生には所有させている。これらの環境は常に変化していくため、ルールの見直しも随時適用させていく。ただし夜間は職員に預けている。

・基本的生活習慣の取得について

朝起きる事～朝食～登校へのパターン及び、帰園後の生活～就寝までの過ごし方についての乱れは無かった。ユニット化の生活の中で食事のマナー等についての課題は表面化しており、改善に向け工夫をしている。

・職員間のチームワークの問題

各G内での会議や、職員会議・処遇会議・給食会議・グループ長会議、グループリーダー会議にて方針を徹底させたことから、職員間での対応のブレは少なくなったが、個別に問題を抱える児童についての関りはまだ個人差がある。主任を中心としてアドバイスを実施ながら、見直しを行っていく。

又、FSW(ファミリーソーシャルワーカー)担当職員、心理対応職員、職業指導員と各グループとの連携をより充実させ、連携を深くした。

・外部の人材による処遇向上について

内部職員だけでは、手が廻らない部分について、外部の力を借りてフォローしていくことが必要となっているが、コロナ禍により実施はしなかった。

- (1) 教養娯楽の部分（読み聞かせ、習字、音楽、美術、スポーツ等）
- (2) 学力向上の部分（ボランティアや学生等の力による、学習塾的な場を設け、取り掛かる）

コロナの状況を見据えながら、幅広く受け入れていきたい。

又、中学生の学習塾も積極的に活用して学力向上に役立てた。

今後は集団学習に適応しにくい児童に対し、個別的指導が可能な人材を確保していくことが必要になる。

又、高校生の進学を支援するために、学習塾（進学予備校）利用を推進していくが、措置費の補助（月額 20,000 円～25,000 円）では不足する部分を施設として年間 10 万円まで予算化した。

⑦ 苦情対応について

令和 2 年度の苦情受付件数は 0 件 でありました。

ヒヤリハット報告や事故報告は多数ありますが、苦情につながるような事案はなかった。

⑧ 児童手当（旧子ども手当）の実施

令和 2 年度も中学生までの入所児童には、各児童に子ども手当が支給されました。

（3 歳未満は 15000 円/月、3 歳以上は 10000 円/月）

各児童の預金通帳を作成し、施設が責任をもって管理しています。

高校生のスマートホン購入時の初期費用、月額費用の不足分は児童手当からの支出を認めていましたが、スマートホンの利用料金体系が変化した為、標準的な料金を維持するために、高校生のお小遣いを 2000 円上乗せして 10,000 円/月額としました。

最近では保護者からの「お金を渡して欲しい」という要求は無くなりました。

⑨ 在籍児童月間推移

令和 2 年度各月初日在籍児童数（実在籍児童数）

区分	定員	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
本体	35名	男	14	15	15	19	19	19	19	15	16	15	15	16	197	16.42
		女	14	14	14	14	14	16	15	15	15	15	15	15	176	14.67
		小計	28	29	29	35	33	35	34	30	31	30	30	31	373	31.09
ひなた	6名	男	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48	4.0
		女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
		小計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	5.0
合計	41名	合計	34	35	36	37	38	39	39	40	40	40	41	40	459	36.09

令和 2 年度新規入所児童数 11 名

令和 2 年度退所児童数 15 名(高校 3 年生 2 名含む)

令和2年度は全体平均 36.09 名の在籍となっているが、地域小規模と本体施設を分けて定員計算が必要となる。

本体施設 定員 35 名に対し平均入所者 31.09 名 (= 切り上げ 32 名 充足率 91%)

地域小規模施設 定員 6 名に対し平均入所者 5.0 名 (充足率 83% だが 5 名確保が条件) となりますので、定員の改定等は必要ありません。

令和3年度も本園定員 35 名、地域小規模施設定員 6 名、合計定員 41 名でスタートします。

⑩ 進路関係

高校3年男児・・・進学 (茨城キリスト教大学 アパートでの自活生活)

高校3年女児・・・就職 (川尻にある製造工場に就職、アパートでの自活生活)

中学3年男子・・・明秀学園通信制に進学 (日照養徳園から高校進学)

中学3年女子・・・水戸高等特別支援学校に進学 (親元から高校進学)

⑪ 寄付金・助成金関係

高校を卒業し進学した児童に対しては、国の補助制度「自立支援資金貸付金制度」を活用している。(生活資金月額5万円限度、アパート家賃月額で生活保護の住宅扶助限度)

又、就職する児童に対しては、運転免許取得資金として25万円の借入制度(2年継続就労にて返済免除)も活用している。

⑫ 第三者評価の検証

令和2年度(令和3年2月予定)に第3回第3者評価を受ける予定でしたが、コロナ禍により次年度に延期となりました。(令和4年2月に実施予定)令和2年度は自己評価を実施しています。

評価内容も毎年変化があることから、その変化に沿って施設としての考え方も改善していく必要があります。

⑬ コロナ対策の実施

幸いにして、令和2年度の日照養徳園の職員児童の陽性感染者はいませんでした。

高校生では、同級生に陽性者が判明等ありましたが、園の児童は問題ありませんでした。コロナ対策としては、消毒液の確保・マスクの確保・対面作業用のガウン・手袋の確保及び、PCR検査キットの準備をしました。園内行事の自粛や行動制限等も必要に応じて実施しました。

児童達は行動制限生活が必要でしたが、大きなトラブルは発生しませんでした。

以上

事業報告

年	月	日	摘 要			
2	4	1	新規採用職員研修会			
		5	日立さくらまつり(ライオンズクラブ参加)中止			
		6	中学校入学式 小学校始業式			
		7	小学校・県立高校・特別支援学校 入学式			
		8	茨児協役員会			
		10	職員会議			
		11	茨児協バレーボール・ドッジボール大会(不参加)中止			
		14	給食会議			
		17	施設長会議 中止			
		18	小学校 PTA 総会・参観 中学校 PTA 総会・参観 中止			
		22	処遇会議			
		24	茨児協総会 中止(書面審議)			
		25	豊浦中学校体育祭 延期			
		27	G長会議			
		5		7	職員会議 県経営協理事会	
				9	小学校環境整備作業 中止	
				11	給食会議	
				15	茨児協施設長部会・茨児協役員会 中止	
				16	小学校運動会 中止 県立高校 PTA 総会、授業参観 中止	
				18	処遇会議	
				20	全養協協議員総会 中止(書面審議)	
				21	経営協総会・研修会 中止(書面審議)	
				25	G長会議	
				6		1
	2	県社会福祉審議会里親部会				
	10	給食会議 県社協理事会中止(書面審議)				
	11	水戸家庭裁判所委員会 中止				
	15	処遇会議 自立支援資金貸付制度運営委員会				
	17	退職金手当制度運営委員会				
	19	互助会理事会 中止(書面審議)				
	24	G長会議				
	26	施設長部会				
	7		1			職員会議 県社協理事会
			7			里親リクルート会議
			8			茨児協従事者部会
			9			給食会議
			10	関東ブロック児童養護施設研究協議会 延期		
			13	処遇会議		
			17	施設長会議 茨児協役員会		

年	月	日	摘 要	
	7	21	里親基礎研修会	
		22	日立市内里親支援会議	
		27	G長会議 特別支援学校高等部参観	
		28	全養協研修委員会 (WEB)	
		30	県社会福祉大会運営委員会	
		8	3	職員会議
	5		小中終業式 (1学期終わり)	
	7		だいち行事 うみ行事	
	11		そら行事 うみ行事 県予算対策委員会	
	14		たいよう高校生行事	
	15		たいよう行事	
	17		小中始業式 (2学期始まり) 処遇会議	
	21		茨児協総務委員会	
	22		そら行事	
	23		たいよう行事	
	24		G長会議	
	25		県社会福祉審議会児童処遇部会 日立児相管内里親会議	
	29		たいよう高校生行事	
	30		うみ行事	
	9		1	職員会議
			4	茨児協総務委員会 (WEB)
		9	給食会議	
		15	処遇会議	
		18	施設長部会 (WEB) 茨児協役員会 (WEB)	
		24	G長会議 中止	
		29	小3生校外学習	
		30	小2生校外学習	
		10	2	職員会議
			3	小5生校外学習
	8		給食会議	
	9		茨城県社会福祉大会 中止 小1生校外学習	
	12		県互助会理事会	
	13		茨児協総務委員会 (WEB) 県社会福祉審議会里親部会	
	14		茨児協従事者部会	
	15		処遇会議 小6生校外学習	
	16		施設長部会 茨児協役員会 (WEB)	
	21		全養協全国大会 (新潟) 延期	
	26		労務管理研修 (WEB)	
	28		G長会議 県経営協研修委員会	
	29		関ブロ運営委員会 (WEB)	
	11		2	職員会議
		6	オレンジリボンタスキリレー	
9		日立市要対協 水戸家裁委員会		

年	月	日	摘 要	
3	11	10	給食会議 茨児協総務委員会 (WEB)	
		12	関プロ児童養護施設職員研修会 延期	
		17	処遇会議	
		20	施設長部会 (WEB) 茨児協役員会 (WEB)	
		23	園内消防訓練	
		25	G長会議 県経営協研修会	
		12	2	職員会議
			5	茨児協スターズセミナー (WEB)
			7	給食会議
			8	関プロ運営委員会 (WEB)
			9	茨児協総務委員会 (WEB)
	10		新規採用内定者オリエンテーション	
	11		県社協理事会	
	12		茨児協バレードッチボール大会 中止	
	15		処遇会議	
	16		福祉人材確保対策委員会	
	18		県社会福祉審議会・児童処遇部会	
	22	G長会議		
	23	施設長部会・県情報交換会		
	24	小中終業式		
	25	園内クリスマス会		
	28	日照養徳園園内餅つき会 (外部参加なし)		
	1	8	始業式 職員会議	
		12	茨児協総務委員会 (WEB)	
		14	全養協研修部会 関プロ事務・管理者研修 (茨城) 延期	
		15	給食会議	
		20	処遇会議	
		22	施設長部会 茨児協役員会 (WEB)	
		26	G長会議	
		2	1	職員会議
			3	県社会福祉審議会児童処遇部会
			9	給食会議 茨児協総務委員会 (WEB)
			10	茨児協従事者部会
	12		県少子化対策審議会 延期	
	15		県社協はんどちゃん研修委員会 (WEB)	
	17		処遇会議	
	19		施設長部会 (WEB)	
	23		消防訓練	
	24		G長会議	
	26		退職金制度運営委員会	
	3	1	県立高校卒業式	
		2	職員会議	
3		県立高校入試		

年	月	日	摘 要
	3	4	関プロ運営委員会
		9	給食会議 茨児協総務委員会 (WEB)
		10	全養協協議員総会 中止 (書面審議)
		11	中学校卒業式
		12	県立高校合格発表
		15	県社協理事会
		16	県従事者互助会理事会
		17	処遇会議 県社会福祉審議会児童処遇部会
		19	幼稚園卒園式 施設長部会
		22	G長会議
		23	小学校卒業式
		24	修了式
		25	県経営協理事会